

町政を問う

一般質問とは

議員が町政全般にわたり、執行機関（町長・教育長など）に疑問点について、所見を伺うことです。



大谷 敏弥 議員

病院津波浸水について 4



高橋 克英 議員

マイナンバーカード普及率、現状は 5



高森 功治 議員

小・中学校の暑さ対策について 6

ふれあい公園の維持・管理・整備の
方向性について 7

— 大谷 敏弥 議員 —

病院津波浸水について

(町長) 当面は既存の施設を最大限活用し、医療体制の確保に努める

大谷 北海道新聞が津

波浸水想定区域を調べたところ、最大規模の津波が発生した場合に被災する恐れがある浸水区域内に立つ病院に長万部町立病院も指摘されている。

津波などの災害時に、

地域の救急医療の拠点となる長万部町立病院の医療体制の維持機能に支障が出ることはあきらかだ。

町民の治療の要となる病院の機能が失われると地震や津波で出た怪我人はもとより、病人を受け入れる事も難しくなる。

いづこで発生するかわからない大地震、津波で病院の機能が失われれば犠牲者が増える懸念が

あり、早期の対策を考えた。

町長 令和2年4月に国が「日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震モデル」を公表したことに伴い、北海道は令和3年7月に、太平洋沿岸で「最大クラスの津波」が発生した場合に想定される津波高、浸水域等を示した津波浸水想定を設定・公表し、本町は令和3年10月に、津波災害警戒区域の指定を受けている。

町立病院は、北海道が公表した津波浸水想定区域内に立地しており、昭和58年1月の開院から40年以上が経過し施設の老朽化が進んでいることから

ら、令和5年3月に町民の代表等からなる病院事業検討委員会を設置し、施設の津波浸水区域外への移転を含めた今後の病院のあり方について、ご意見をいただいているところである。

北海道が想定する最大クラスの津波が発生した場合には、病院機能にも影響が出ることから、早期の移転改築が望まれるが、新病院の開設には関係機関との調整や各種計画の策定など、多くの手続きを要することから、当面は既存の施設を最大限活用しながら、近隣病院との連携などを含めた医療体制の確保に努める。

大谷 いつ発生するかわからない大地震。病院の機能が失われれば、災害時の医療現場は逼迫した状態になり、医療体制の維持に支障が出かねると思うので、最低限の治療器材を確保しておくことで、患者に対しての治療もできると思うが。

病院事務長 病院機能

が喪失する規模の災害が発生した場合、町内全域にも大きな被害が出ていることが想定される。まずは避難を優先して、状況により対処していかなければなら



長万部町立病院

ないと考える。診療材料などについては、入院患者用は2階のほうで保管はしている。その他については管理上の問題もあることから、それぞれ薬局や中央材料室などで保管をしている。

— 高橋 克英 議員 —

マイナンバーカード普及率、現状は

(町長) 関係機関との協力で普及率は非常に高い

高橋 マイナンバー

カードは国、そしてデジタル庁の肝いりの政策だったはずだが、目的は国民の利便性向上と、行政の効率化を図るためのものである。しかし、様々なトラブルが毎日のように新聞・テレビ・ラジオ等で報道されている。保険証とマイナンバーカードを一本化するマイナ保険証では、同名同姓の他人の情報が紐付けされたケースが特に多かったと聞いている。

こうした中で町民の方々も不信任感が募り、制度そのものに協力できなくなると危惧している。

町としてこれからマイナンバーカード普及促進へ向け、どのように勧めていくのか、町長の考えをお聞きたい。

町長 マイナンバー

カードは、対面でもオンラインでも安全・確実に本人確認を行うことがで

きるデジタル社会の基礎となるツールであり、健康保険証としての利用や自己の薬剤情報、特定健診情報等の閲覧、公金受取口座の登録、新型コロナウイルスワクチンの接種証明書の取得など、その利活用シーンは拡大している。

長万部町のマイナンバーカードの交付状況は、令和5年8月31日現在で3733人の交付となっており、令和5年1月1日時点の人口4880人のうち76・5%の交付率となっている。

町民課では、写真を持つてない方など窓口に来てもらうだけで、写真撮影から申請までできるようサポートしている。

今後も継続して実施し、広報などを利用しマイナンバーカードの普及促進を進めたいと考えている。

高橋 76・5%の交付

率は自治体の中でもかなりの普及率と思われる。

実際にマイナ保険証の紐付けミスというのはなかったのか。

町長 ミスは報告されていない。

高橋 残りの25・6%の町民の方々にはどのような対応をしていくのか。

町長 ゼロ歳児や高齢者、施設入所者の方々もいるので交付率100%というのは難しいと感じている。静狩、長万部、国縫の郵便局も協力してくれて76・5%の普及率は非常に高く評価に値すべきだと思う。ただ、これ以上の普及率は今想定できないと思う。

高橋 全国的には様々なミスが多発している。国からの点検マニュアル的なものは、行政に届いているのか。

町民課長 国のほうでマイナンバーによる情報連携の正確性確保に向けた総点検の実施ということで、マイナンバーカー

ドに対しての紐付け関係とかの調査については来ており協力をしている。



【おもて面】



【うら面】

マイナンバーカード見本

— 高森 功治 議員 —

小・中学校の暑さ対策について

(教育長) 学校や関係者等と協議し、検討していく

高森 今年の6月から8月までの3か月の全国平均気温は、これまで最も暑かった2010年を大きく上回り、過去126年の中で最も暑い夏となった。特に気温が高かったのは北海道と東北で、すべての県庁所在地で8月の平均気温が観測史上1位を記録した。

伊達市において8月22日、体育の授業後に小学2年生が熱中症とみられる症状で病院に搬送され、その後亡くなられた。長万部町においても、8月25日、小学校が暑さのため短縮授業となった。温暖化の影響でこの先も暑い夏が続くと思われる。今後、どのような対応をとられるのか、教育長の所見を伺う。

教育長 町内の小・中学校においては、暑さ対策の一環として、天井設置型扇風機や置き型扇風機の設置に加え、昨年度

から2か年で網戸の設置などを実施している。

今年については、30度を超える日が続いたこともあり、熱中症対策として、児童生徒に対して、こまめな水分補給や適度な休息を徹底するよう指示している。

今後の暑さ対策としては、児童生徒の安心で安全な教育活動の実現に向け、学校や関係者等と協議し、検討していく。

高森 この夏、熱中症とみられる症状で体調を崩した生徒や児童はいったか。

教育長 小学校、中学校からは、熱中症により体調を崩した子どもの報告は受けてない。

高森 現状の小学校と中学校の児童と生徒数は、**学校教育課長** 小学校が162名、中学校が97名となっている。

高森 両方で259名だが、この子どものため

にこのエアコンを設置する場合、小学校と中学校でそれぞれ何クラスになるのか。

教育長 小学校の普通教室が6教室、特別支援学級教室が3教室。併せて9教室。中学校では普通教室3教室、特別支援学級教室が2教室となり、併せて5教室となる。

高森 そうなると、14教室となるが、その場合エアコンを設置するとすると、概算で設置費用はどれくらいになるのか。

学校教育課長 エアコンの設置費用の概算であるが、細部についての設計は現在行っていないが、1教室2台の設置で、工事費を含め、1教室70万程度かかると試算している。小中学校で設置すると、約1000万円程度はかかるものと考えている。

高森 エアコンを設置する場合、国や道から、

補助金はあるのか。あるとしたら補助率はいくらになるか。

学校教育課長 学校施設改善交付金がある。補助率は3分の1となっている。小中学校等の空調設備の更新にあたる経費に対応ができると思う。ただし、補助採択の時期等があり、これから申請等を行うと来年度には間に合わず、再来年度に採択になる可能性があると考えている。

高森 来年度の補助金の採択は難しいということだが、その場合、来年はどのような暑さ対策を考えているか。

教育長 協議が必要になってくると思うが、遮光用のカーテンや、レースカーテンの取り付けや、児童・生徒に対して冷感タオルやネッククーラーなどを購入して個人個人に与えるのもひとつの方法として考えている。

高森 学校設置者である町長に聞くが、今のやり取りを聞いていて、エアコンの設置を前向きに検討してはいかがか。

町長 8月22日、伊達小学校の2年生の女子児童が亡くなられた。ご冥福をお祈りする。

教育委員会から様々な答弁をしたが、学校設置者として今後とも各担当課を含めて協議をしながら検討を重ねていきたい。先ほどの答弁であったとおり、補助金の採択が来年度に合わないとのことなので、その辺も含めて、どの時期に、きちんとした対策を練るか考えていきたい。

— 高森 功治 議員 —

ふれあい公園の維持・管理・整備の方向性について

(町長) 劣化度調査の結果によって判断する

高森 ふれあい公園は整備から約30年経過し、設備の老朽化も出てきている。また、この公園はスポーツ少年団も使用していることから、今後の維持・管理・整備について町長の所見を伺う。

町長 ふれあい公園は、ご質問のとおり供用開始から約30年を経過しようとしており、各施設整備の老朽化が目立ってきている。劣化度調査業務を実施しているので、その結果に基づき更新および修理を判断していく。

ふれあい公園は町民憩いの場はもとより、少年団をはじめとする体育関係団体の使用、毛がまつり会場でもあるので、従来同様に維持・管理・整備を継続して取り組んでいく。

高森 町内各所に公園があるわけだが、今後新たな設備を整備する予定はあるのか。

町長 町が管理している7つの公園の調査を終えてから維持・管理を今後どうしていくかを整理をしていきたい。いずれ新幹線の広場ができてくると、色々な案もまた生まれてくると思っている。

高森 ふれあい公園は、毛がまつりの会場でもあることから過去に水道管を引いてもらった経緯がある。しかし電気の配線は今もない。

電気ケーブルを埋設してもえれば、イペントのたびに電気を引いたり、それを撤去するということがなくなる。そして災害時には避難場所として使うことも可能だと思うが、その辺はどう考えているのか。

か。

町長 10月に劣化度調査の結果がでるので、その内容を考慮して、必要なかどうか判断する。しかしながら地下に電気配線すると、水や積雪によってどの様な影響が出るか考えていかなければならないので、なかなかそれをやるのは難しいかもしれない。



ふれあい公園